

アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦 Anti-Action: Artist-Women's Challenges and Responses in Postwar Japan

東京国立近代美術館（東京・竹橋）

[会期] 12月16日（火）～2026年2月8日（日）

＼いよいよ開幕！／

関連企画のご案内

イベント・キャンペーン情報など

2025年12月16日(火)より東京国立近代美術館（東京・竹橋）にて開催する展覧会「アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦」（主催：東京国立近代美術館、朝日新聞社）では、本展をよりお楽しみいただくために多彩な企画をご用意しております。展覧会と合わせて多くの方にご紹介いただきますよう、お願い申し上げます。

イベント

本展の内容を、より深く知るためのイベントを開催！ご鑑賞の前後で、本展への理解を深め、さらに楽しめる内容となっております。本展のいわば「原作」ともいえる書籍の著者と、本展企画者のトークを直接聞くことができる貴重な機会に、ぜひご参加ください。開催は、土曜日の昼・金曜日の夜となりますので、授業やお仕事終わり、お出かけなど、ご予定とあわせてのご来館をお待ちしております。

■中嶋泉氏講演会

今回の展覧会は、書籍『アンチ・アクション—日本戦後絵画と女性画家』（2019年）を足がかりにした企画です。その著者であり、本展に学術協力をいただいた中嶋泉氏をお招きし、「アンチ・アクション」という造語を提唱するに至った背景や、ジェンダー研究の最新動向を汲むご研究の内容、そして本展とのかかわりについてお話しいただきます。

講師 | 中嶋泉氏（本展学術協力者、大阪大学大学院人文学研究科准教授）

日時 | 2025年12月20日（土）14:00～15:30（開場13:30）

会場 | 東京国立近代美術館 地下1階講堂

定員 | 140名（先着順）、無料（観覧券不要）



中嶋泉氏（本展学術協力者、大阪大学大学院人文学研究科准教授）

■ナイト・レクチャー

「アンチ・アクションとアクションとアンチ・アート」

本展のタイトルである「アンチ・アクション」は、1960年代に日本を席巻した「アクション・ペインティング」と対をなす言葉です。出品作を見るだけでは十分に知ることが難しいこの絵画動向について、その受容や広がりについてお話しします。合わせて、この時代の日本の前衛美術の代名詞となっていた「反芸術（アンチ・アート）」についてあらためて見直します。

講師 | 成相肇（本展企画者、東京国立近代美術館主任研究員）

日時 | 2026年1月16日（金）18:00～19:00（開場17:30）

会場 | 東京国立近代美術館 地下1階講堂

定員 | 140名（先着順）、無料（観覧券不要）



成相肇（本展企画者、東京国立近代美術館主任研究員）

※イベントの撮影、録画、録音はお断りしております。

※イベント参加後の展覧会への再入場は可能です。

※内容や日時は都合により変更となる可能性があります。あらかじめご了承ください。

※イベントのオンライン同時配信、アーカイブ配信はありません。

コラボメニュー

東京国立近代美術館内のレストラン「ラー・エ・ミクニ」では、アンチ・アクション展の出品作品をイメージした特別なメニューをお楽しみいただけます。

期間：2025年12月17日（水）～2026年2月8日

（日）

場所：東京国立近代美術館 レストラン「ラー・エ・ミクニ」

※ご予約はレストラン「ラー・エ・ミクニ」へお問合せください

お問合せ | 03-3213-0392（月曜および日曜夜 休業）



キャンペーン

来館者限定！オリジナルARフォトフレームで、“あなたの思うベストポジ”をそのまま思い出に。

会期中の2025年12月16日（火）～2026年2月8日（日）、企画展室内限定で使用できるARフォトフレームをご用意しています。会場に掲出した数種類のQRコードの中から、お好きな背景を選び、スマートフォンで読み込むと、展覧会オリジナルデザインのフォトフレーム付きで会場内を撮影できます。

フレームの使い方は自由。美術館の展示も、肉眼で見るのとは異なる、新しい空間に感じられるかもしれません。

あなただけの“ベストポジ（ベストポジション）”を、ぜひ探してみてください！

＼#ハッシュタグキャンペーン／

開幕週の週末は、特別ノベルティがもらえるチャンス！

「アンチ・アクション展」にご来場いただき、指定のハッシュタグをつけてSNS投稿

いただいたお客様には、展覧会オリジナルステッカーをプレゼントいたします。

ご来場の記念に、特別な会場風景と、鑑賞の様子をアップしてみませんか？

期間：2025年12月19日（金）～12月21日（日）

方法：

- ① 展覧会「アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦」の展示室内で撮影
- ② 「#アンチアクション」と「#MOMAT」をつけて、SNSへ投稿
- ③ ①と②の投稿内容が分かる画面を1階インフォメーションカウンターで提示
⇒ステッカー贈呈！

※撮影時は、掲示の注意事項をよくお読みください

※キャンペーン内容は変更する場合がございます



▲フレーム使用例 ※イメージ



▲ステッカー例

関連展示

所蔵作品展と合わせてのご鑑賞がおすすめ

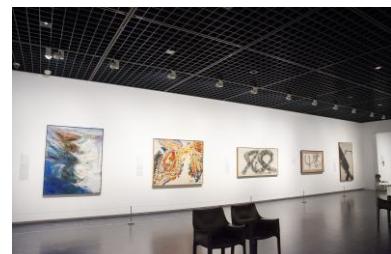
アクション前夜（3F 7 室）、「...アクション！」&「...カット！」（3F 8 室）もお見逃しなく！

当館の所蔵品ギャラリー（4～2F）にて、開催中の「**所蔵作品展 MOMAT コレクション**」では、「アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦」が着目する1950～60年代の日本の美術動向をたどることができる作品が展示されています。

どちらもあわせて観ることで、展覧会の体験がさらに豊かになります。歴史を相対的に見る観点を得られるのは、幅広い当館の**所蔵作品展**ならではの強みです。

展覧会名 | 所蔵作品展 MOMAT コレクション

会期 | 2025年11月5日（火）～2026年2月8日（日）（開催中）



コレクション展 展示風景 撮影：haruharehinata

■開催概要

展覧会名 | アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦

英語名称 | Anti-Action: Artist-Women's Challenges and Responses in Postwar Japan

会期 | 2025年12月16日（火）～2026年2月8日（日）

会場 | 東京国立近代美術館 1F 企画展ギャラリー

休館日 | 月曜日（ただし1月12日は開館）、

年末年始（12月28日～1月1日）、1月13日

開館時間 | 10:00～17:00（金曜・土曜は10:00～20:00）

観覧料 | 一般 2,000円（1,800円） 大学生 1,200円（1,000円）

東京国立近代美術館（当日券）、公式チケットサイト(e-tix)にて販売。

* いずれも消費税込。

* () 内は20名以上の団体料金。

* 高校生以下および18歳未満、障害者手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料。

それぞれ入館の際、学生証等の年齢のわかるもの、障害者手帳等をご提示ください。

* 本展の観覧料で入館当日に限り、同時開催の所蔵作品展「MOMAT コレクション」(4-2F)もご覧いただけます。

主催 | 東京国立近代美術館、朝日新聞社

巡回 | 豊田市美術館 2025年10月4日～11月30日（終了）、兵庫県立美術館 2026年3月25日～5月6日

お問合せ | 050-5541-8600（ハローダイヤル）

展覧会サイト | <https://www.momat.go.jp/exhibitions/566>



* 本リリースの掲載画像をご希望の方は、下記広報事務局までご連絡ください。

報道関連のお問合せ先

「アンチ・アクション展」広報事務局(ユース・プラニングセンター内) 担当 | 片山・渡邊・池袋

〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN 渋谷3ビル4F

電話 | 03-6821-8466 FAX | 03-6821-8869 E-mail | antiaction@ypcpr.com

MOMAT